

01: 10

02: 3 かいじょけん くんれん し ぎょーしゃ (しんたい

03: しょーか いしゃ ふくしほー た い 4 じょーの 2

04: た い 3 こーに きてい する かいじょけん くんれん

05: し ぎょーを おこなう ものを いう。 いか おなし 。) わ、

06: せ んこーに きてい する くんれん けいかくの さくせい

07: および てきこ ーせいの ひょーか そのた た い 1 こー

08: かく こ ーに かけ る くんれんを おこなうに あたって、

09: いし、 じゅーいし、 りか く りょーほーし、 さぎょー

10: りょーほーし、 しゃかい ふくし そのたの せんもんてきな

11: ちしきを ゆーする ものとの れんけいを かくほ すると

12: とともに、 ひつよーに おーし しんたい しょーか いしゃ

13: しゃかい さんか しえん しせつ そのたの ふくし さーひ すを

14: ていきょー する もの とーの きょーりよくを えなければ

15: ならない。

16: 4 かいじょけん くんれん し ぎょーしゃわ、 いくせい

17: した かいじょけんの けんこー じょーたい ならひ に きほん

18: と ーさ および かいじょ と ーさの じょーきょーに

01:: 1 1

02: ついて、これをしよーするしんたいしよーが いしゃから

03: ていきてきに ほーこくを もとめ、 その しょーが いの

04: じょーきょー および ひつよーと する ほじょ、

05:おくないか` いの` せいかつ` かんきょー` とーの` へんかに

06:たいおー する ための ほじゅー くんれん、 ついか くんれん

07: そのたの さいくんれんを けいそ くてきに おこなわなければ

08:ならない。

09: (ちよーとゝ 一けんの くんれん きじゅん)

10: たゝ い 3じょー ほー たゝ い 3じょー たゝ い 1こーに

11: きてい する くんれんの うち ちょーとゝ 一けんに かかる

12:ものわ、つき`に`かけ`る`くんれんに`より

13:おこなわなければ`ならない。`この`は`あい`に`おいて、

14: た い 1 こ ー に か かけ る き そ く ん れ ん お よ ひ

15: た い 2 こ ー に か かけ る ちょー と ー と ー さ

16: くんれんわ、 へいこー して おこなう ことが` で` きる。

17: (1) きそ くんれん (ちよーかく しょーか いに より

18: にちじょー せいかつに いちし` るしい ししよーの ある

01: 1 2

02: しんたい 〓 しょーかゝ いしゃてゝ 〓 あって 〓 ちょーとゝ 一けんを

03: しょー しょーと する もの 《 いか 「ちょーと` ーけん しょー

04: よていしゃ」という。∴》が`これを`と`一はん`して

05:ふとくてい かつ たす一の ものがゝ りよー する しせつ

06: とーを りよーする は` あいに おいて たにんに めいわくを

07: およぼ さない こと そのた てきせつな こーと ーを とる

08: ことか” て” きるよーに” する” ための” きほん” と” ーさの

09: くんれんを…いう。)

10: (2) ちょーとゝーとゝーさゝくんれん (ちょーとゝーけん

11:しよー よていしゃの しよーが いの じょーきょー および

12: ひつよーと する ほじょに おーし、 ふゝ さゝーおん、

13: てゝ ンワの ヨビ た しおん、 その ものを よぶ こえ、

14: きけんを いみ する おと と一を ききわけ、 その ものに

15: ひつよーな じょーほーを つたえ、 および ひつよーに

16:おーしゝ おんげゝ んえの ゆーとゝ ーを おこなう ちょーとゝ ー

17:とゝ一さをかくしゝつにゝおこなうゝことかゝゝてゝきるよ一に

18: する…ための…くんれんを…いう。)

01: 1 3

02: (3) こーとー くんれん (ちょーとー けん しょー

03: よていしゃか ちょーとー けん と する ための くんれんを

04: うけて いる いぬ 《 は。 から ほ。 まで およひ

05: しー こーに おいて 「くんれんけん」と いう。 》 に ししー を

06: して、 きほん とー さ およひ ちょーとー とー さを

07: てきせつに おこなわせる ことが て きるよーに する ための

08: つきー に かけ る くんれん およひ しとー を いう。)

09: い。 ちょーとー けん しょー よていしゃの しょーかー いの

10: じょーきょー およひ ひつよー と する ほじょに おーし た

11: くんれん

12: ろ。 ちょーとー けん しょー よていしゃの

13: おくないかー いの せいかつ かんきょーに おーし た くんれん

14: は。 ちょーとー けん しょー よていしゃに たいする

15: くんれんけんとの いし そつーの しゅたー んの しとー

16: に。 ちょーとー けん しょー よていしゃに たいする

17: くんれんけんの しいく かんり、 けんこー かんり そのたの

18: かんりに かんする しとー

01: 15

02: かく こゝろに かけ る くんれんを おこなうに あたって、

03: いし、 じゅーいし、 げ んこ ちょーかくし、 しゃかい

04: ふくしし そのたの せんもんてきな ちしきを ゆーする ものの

05: れんけいを かくほ すると ともに、 ひつよーに おーし

06: しゅわ つーやくしゃ そのたの ふくし さーひ すを ていきよー

07: する もの とーの きよーりよくを えなければ ならない。

08: 4 ちょーとーけん くんれん し ぎよーしゃわ、

09: いくせい した ちょーとーけんの けんこー じょーたい

10: ならひ に きほん とーさ およひ ちょーとー とーさの

11: じょーきよーに ついて、 これを しょー する したい

12: しょーか いしゃから ていきてきに ほーこくを もとめ、 その

13: しょーか いの じょーきよー およひ ひつよーと する

14: ほじょ、 おくないか いの せいかつ かんきよー とーの

15: へんかに たいおー する ための ほじゅー くんれん、 ついか

16: くんれん そのたの さいくんれんを けいそ くてきに

17: おこなわなければ ならない。

18:

01: 16

02: (しんたい しょーか いしゃ ほじょけんの ひょーし)

03: た い 4じょー ほー た い 12じょー

04: たゝ い 1 こーの きていに よる ひょーし わ、 よーしき

05: たゝ い 1 こ ーに より しんたい しょーが いしゃ

06:ほじょけんの とゝ 一たいに みやすいよーに おこなわなければゝ

07:ならない。

08: (ほー たゝ い 1 2 じょー たゝ い 2 こーに きてい

09: する こーせい ろーとゝ ー しょーれいてゝ

10: : : : : : : : さたゝ める : : しよるい)

11: た い 5じょー ほー た い 12じょー

12: たゝい 2 こーに きてい する こーせい ろーとゝー

13: しょーれいてゝ さたゝ める しょるいわ、 しんたい

14: しょーが いしゃ ほじょけんの えいせいの かくほの ための

15: けんこー かんりに かんする つき` に かけ` る し` こーを

16: きさい した しょるい (いか 「しんたい しょーが いしゃ

17: ほじょけん けんこー かんり きろく」という。) および

18: たゝ い 9 じょー たゝ い 5 こーの きていに より こーふ

01: 17

02: された　しんたい　しょーが　いしゃ　ほじょけん　にんていしょー

03: そのた しんたい しょーか いしゃ ほじょけんで ある ことを

04:しよーめい する しよるいと する。

05: (1) しんたい しょーが いしゃ ほじょけんの よほー

06:せっしゅ および けんしんの し っしに かんする きろく

07: (よほゝー せっしゅ および けんしんを しっしした

08: しんりょー きかん とーの めいしょー および じゅーいしの

09: しょめい ː またわ ː きめい ː おーいんかゝ ː なければゝ ː ならない。)

10: (2) せ んこ ーに かけ る ものの ほか、

11: しんたい しょうが いしゃ ほじょけんの えいせいの かくほの

12:ための けんこー かんりに かんする きろく

13: (してい の しんせい てつつ き)

14: た い 6じょー ほー た い 15じょー

15: たゞ い 1 こーの きていに よる してい を うけよーと する

16:ものわ、そのめいしょー、しゅたるしゝむしょの

17:しょさゝ いち および たゝ いひよーしゃの しめいを きさい

18: した 〓 しんせいしょを 〓 こーせい 〓 ろーと 〓 ー 〓 た 〓 いし 〓 んに

01: 18

02: ていしゅつ ∷ しなけれはゝ ∷ ならない。

03: 2 せ ンコーに きてい する しんせいしょにわ、

04:つき` に` かけ` る` しょういを` てんぷ° ` しなけれは`

05:ならない。

06: (1) てい かん および とーき し こー

07: しょーめいしょ

08: (2) しぎょーけいかくしよ、しゅーしよさんしよ、

09: さゝ いさん もくろく および たいしゃく たいしょーひょー

10: (3) やくいんの しめい および じゅう-しょ

11:ならびに りゃくれきを きさい した しよるい

12: (4) しんたい しょーか いしゃ ほじょけんの

13: くんれんを もくてきと する ほーじ んに あってわ、

14: くんれんを おこなう ものの しめい および くんれんに

15:かんする しっせきを きさい した しょるい

16: (5) しんたい しょーか いしゃ ほじょけんの

17:けんきゅーを もくてきと する ほーじ`んに あってわ、

18:けんきゅーしゃの しめい および けんきゅーに かんする

01: 20

02: いる :: こと。

03: (2) しんたい しょーか いしゃ ほじょけんの

04: くんれんの きょーむ (たゝ い 2 じょー たゝ い 1 こー

05: たゝ い 3 こゝ ― またわ たゝ い 3 じょー たゝ い 1 こゝ

06: た い 3 こ ー に か かけ る こ ー と ー く んれんのみを

07:おこなう 物を ふくむ。) またわ けんきゅうの ぎょうむを

08: てきせいに おこなって いる こと。

09: (3) にんてい ぎょ一むを あんてい して おこなう

10:ために ひつよ一な けいりてき きそを ゆ一する こと。

11: (4) しんたい しょーか いしゃ ほじょけんの

12: くんれんの ギョーむ そのた にんてい ギョーむ いかゝ いの

13:ぎょ一むを おこなう ことに より にんてい ろーむか

14:ふこーせいに なる おそれが ない こと。

15: (5) にんてい ぎょ一むを てきせつ かつ かくし つに

16:おこなう ために ひつよ一な ちしき けいけん および

17: きゝ の一を ゆーする ものに より こーせい された しんさ

18: いいんかいが” ∷ おかれて ∷ いる ∷ こと。

01:: 2 1

02: (6) くじょーの かいけつの ための たいせいか

03:せいひ〃 :: されて :: いる :: こと。

04: (にんていの しんせい てつつ き)

05: た い 8じょー ほー た い 16じょー

06: たゞ い 1 二一の きていに よる にんてい (いか 「にんてい」 と

07:いう。)をうけよーと　する　ものわ、　よーしき

08: たゝ い 2 こ ー に よる しんせいしよを ほー

09: たゝ い 15 じょー たゝ い 2 こーに きてい する してい

10:ほーし`ん (いか` 「してい` ほーし`ん」と`いう。) に

11:ていしゅつ::しなければ`::ならない。

12: 2 せんこーにきていするしんせいしよにわ、

13:つき`に`かけ`る`しゅるいを`てんぷ。`しなければ`

14:ならない。

15: (1) と一かゝい しんせいに かかる しんたい

16: しょーが いしゃ ほじょけん と する ために いくせい された

17: いぬ (いか「いくせいけん」という。) を しんたい

18: しょーが いしゃ ほじょけんと して しょー しょーと する

01: 2 3

02:および〃 さくせいに きょーりよく した ものの しょめい

03: またわ きめい おーいんか` なければ` ならない。)

04: は。 かいじょけんにかかる くんれんにあってわ、

05: くんれんを おこなった もの および いし、 じゅーいし、

06: リかゝく…リょーほーし、…さぎょー…リょーほーし、…しゃかい

07:ふくしし　そのたの　せんもんてきな　ちしきを　ゆーする　ものに

08: よる くんれんの そーこゝ ーてきな ひょーか

09: に。 ちょーと 一けんに かかる くんれんに あってわ、

10: くんれんを おこなった もの および いし、 じゅーいし、

11: けゝ んこゝ ちょーかくし、 しゃかい ふくしし そのたの

12: せんもんてきな ちしきを ゆーする ものに よる くんれんの

13:そーこゝーてきな…ひょーか

14: ほ。 と一かゝい しんせいに かかる いくせいけんと

15:てきこゝーじょーきょーにーついでのーとーかゝいしんせいに

16:かかる ∷ しんたい ∷ しょーかゝ いしゃの ∷ いけん

17: (にんていの ほーほー とー)

18: たゝい 9じょー してい ほーし んわ、 にんていを

01: 2 6

02:ときわ、よーしき たゝい 1こー ーに より さくせい した

03:ひょーし、 〓 しんたい 〓 しょーか 〓 いしゃ 〓 ほじょけん 〓 けんこー

04:かんり しろく および 一しき た い 3 こ 一に より

05: さくせい した しんたい しょーか いしゃ ほじょけん

06: にんていしょーを とーか い しんせいに かかる しんたい

07: しょーか` いしやに` こーふ` しなけれは` `ならない。

08: 6 してい ほーし` んわ、 にんていを おこなった

09:ときわ、つき`に`かけ`る`し`こーを`こーせい`ろーと`ー

10: た` いし` んに ほーこく しなけれは` ならない。

11: (1) せ ンコーに きてい する しんたい

12: しょーが いしゃ ほじょけん にんていしょーに きさい した

13: にんてい : は`んこ` -

14: (2) きょーけんぴょー よほー ほー しこー きそく

15: (しよーわ 25ねん こーせい しよーれい

16: たゝ い 5 2 こゝ ー) たゝ い 4 じょーに きてい する とーろく

17: は" んこ" —

18: (3) しんたい しょーが いしゃ ほじょけんの なまえ、

01: 28

02: 2 してい ほーし` んわ、 にんていを おこなった

03: しんたい しょーか いしゃ ほじょけんについて、 ほー

04: たゝ い 1 6 じょー たゝ い 1 こーに きてい する のーりよくを

05:あらためて：けんしょー：する：ひつよーか”：あると：みとめた

06:ときわ、すみやかにし`っちのけんしょーを

07:おこなわなければ` ∴ ならない。

08: :: :: :: (にんていの :: とりけし)

09: た い 11 じょー してい ほーし んわ、 つき の かく

10: こゝ 一の いすゝ れかに かゝ いと一 する ときわ、 にんていを

11: とりけさなければ` ∴ ならない。

12: (1) にんていを おこなった しんたい しょーが いしゃ

13: ほじょけんを しよー する しんたい しよーが いしゃから

14: とーがゝ い しんたい しょーがゝ いしゃ ほじょけんの しょー

15:ちゅーしの…ほーこくかゝ…あった…とき。

16: (2) せ" んじょー た" い 2 こーの きていに よる

17: し っ ち の け ん し ょ - を お こ な っ た け っ か 、 に ん て い を

18:おこなった したい しょーか` いしゃ ほじょけんか` ほー

01: 29

02: たゝ い 1 6 じょー たゝ い 1 こーに きてい する のーりよくを

03:かく ことと なったと みとめられる とき。

04: (3) にんていを おこなった しんたい しょーか いしゃ

05:ほじょけんを：しよー：する：しんたい：しよーかゝいしやの

06: しし" に: したか" わず" : しせつ: とー: またわ: これらを: りよー

07: する ものに いちしゝ るしい そんなかゝ いを あたえた とき

08: そのた あきらかに ほー た い 1 6 じょー た い 1 こーに

09: きてい する の一りよくを かく ことと なったと みとめられる

10:とき。

11: 2 してい ほーし`んわ、 ほーた`い 16じょー

12: たゞ い 2 こーの きていに よる にんていの とりけしを

13:おこなったときわ、たゝい 9じょー たゝい 5こーの

14: きていに より こーふ した ひょーじ、 しんたい

15: しょーが いしゃ ほじょけん けんこー かんり きろく および

16: しんたい しょーか いしゃ ほじょけん にんていしょーを

17:へんかん ∷ させなければ ∷ ならない。

18: 3 してい ほーし" んわ、 ほー た" い 16じょー

01: 3 0

02:たゝ い 2 こーの きていに よる にんていの とりけしを

03:おこなったときわ、たゝい 9じょー たゝい 6こー

04: たゝ い 1 こ ー および たゝ い 2 こ ー に かけ る

05: しゝ こー ならひ に にんていの とりけしを おこなった

06:ねんかゝつひ。をこーせい ろーとゝーたゝいしゝんに ほーこく

07: しなけはゝ ならない。

08: (こーせい ろーとゝ ー たゝ いしゝ んえの ほーこく

09: :: :: :: :: :: と一)

10: た い 1 2 じょー してい ほーし んわ、 まい

11: しゝぎょー ねんとゝ の しゝぎょー けいかくしよ および

12: しゅーし　よさんしょを　さくせい　し、　とーか　い　し　ぎょー

13: ねんと` の かいし まえに こーせい ろーと` ー た` いし` んに

14: ていしゅつ しなけれは` ならない。 これを へんこー する

15:ときも 〃とゝ 一よ一と 〃する。

16: 2 してい ほーし` んわ、 まい し` ぎょー ねんと` の

17: しゝぎょー…ほーこくしょ、…しゅーし…けっさんしょ、…さゝいさん

18: もくろく ∷ および ∷ たいしゃく ∷ たいしょーひょーを ∷ さくせい

01: 3 2

02: (2) はいし し、 またわ きゅうし した は` あいに

03: あってわ、 :: その :: りゅー

04: (3) はいし し、 またわ きゅーし した は` あいに

05: あってわ、 と一かゝい してい ほ一しゝんかゝ にんていを

06:おこなった しんたい しょーか いしゃ ほじょけんを げん

07: しょー して いる しんたい しょーか いしゃに たいする そち

08: (4) きゅーししたは、あいになあってわ、その

09: きかん

10: 2 こーせい ろーとゝ ー たゝ いしゝ んわ、 せゝ んこーの

11:きていに よる とと` けて` か` あった ときわ、 その むねを

12: こーしゝ :: しなけれはゝ :: ならない。

13: (みふ`んを しめす しょーめいしょの よーしき)

14: たゝい 14じょー ほー たゝい 19じょー

15: たゝ い 2 こーに きてい する みふ んを しめす

16:しょーめいしよわ、 よーしき たゝ い 4こーに よる ものと

17:する。

18:

01: 3 3

02: :: :: :: :: :: :: ふそく

03: :::: (しこーきし"つ)

04: た い 1 じょー この しょーれいわ、 ほーの しこーの

05:ひ (へいせい 14ねん 10か つ ついたち) から しこー

06:する。 たた し、 た い 2じょー および

07: たゝ い 3 じょーの きていわ、 へいせい 15 ねん 4 が つ

08: ついたちから 〓 しこー 〓 する。

09: (にんていに かんする けいか そち)

10: た い 2じょー へいせい 15ねん 3か つ

11: ♯3 1にちまで` の ♯あいた`、 ♯た` い ♯7じょー

12: たゝ い 2 こ ー ちゅー 「くんれんの ぎょーむ (たゝ い 2 じょー

13: たゝ い 1 こー たゝ い 3 こー またわ たゝ い 3 じょー

14: たゝ い 1 こー たゝ い 3 こー ーに かけ る こー とー

15: くんれんのみを おこなう ものを ふくむ。) 」 と あるのわ

16: 「くんれんのぎょーむ」と、たゝい8じょーたゝい2こー

17: たゝ い 3 こゝ ー い。 ちゆー 「たゝ い 2 じょー

18: たゝ い 1 こー かく こー またわ たゝ い 3 じょー

01: 3 4

02: た い 1 こー かく こー ーに かけ る くんれん と

03:あるのわ。 「くんれん」と、 とゝーこゝーろ。 ちゅー

04: 「たゝ い 2じょー たゝ い 2こー またわ たゝ い 3じょー

05: たゝ い 2 こーに きてい する くんれん けいかく」と あるのわ

06: 「くんれん けいかく」と、 た い 9じょー

07: たゝ い 1 こーちゅー 1 「たゝ い 2 じょー たゝ い 1 こー かく

08: こゝ — またわ たゝ い 3 じょ — たゝ い 1 こ — かく こゝ — に

09: かけ「る」くんれん」とあるのわ「くんれん」とよみかえる

10: ものと する。

11: 2 へいせい 15ねん 3が つ 31にち

12: いせ” んに 〓 しんたい 〓 しょーが” いしゃ 〓 ほじょけんと 〓 する

13: ための くんれんを かいし した いぬに ついての

14: たゝ い 8 じょー たゝ い 2 こーの きていの てきよーに

15: ついてわ、 とゝーこーちゅー 「つきゝに」 とゝあるのわ

16: 「たゝ い 1 こ ー、 たゝ い 2 こ ー ならび に

17: たゝ い 3 こ ー い。 および ほ。」 と する。

18:

01: 3 5

02: (にんていを うけて いない いぬを しよー する

03: は` あいの ひょーし` に` かんする` けいか そち)

04: たゝ い 3じょー ほー ふそく たゝ い 3じょーの

05: きていに よる ひょーしゝ わ、 よーしき たゝ い 5こゝ ーに

06:よるゝものとゝする。

07: 2 ほー ふそく た い 3 じょーの きていに よる

08:ひょーし”を おこなおーと する しんたい しょーが” いしやわ、

09: よーしき たゝ い 6こ ーに より こーせい ろーと ー

10: たゝ いしゝ んに ととゝ けてゝ なければゝ ならない。

11: 3 こーせい ろーとゝ ー たゝ いしゝ んわ、 せゝ んこーの

12: きていに よる とと` けて` を おこなった しんたい

13: しょーが いしゃに たいし、 とと けて を おこなった むねの

14: しょーめいしょを こーふ する ものと する。

15: 4 ほー ふそく た い 3じょーの きていに よる

16:ひょーし` を::おこなう::しんたい::しょーか` いしゃわ、

17: と一かゝいひょーしゝを おこなう いぬの えいせいの かくほの

18: ための けんこー かんりに かんする つき” に かけ” る

01: 3 6

02: しゝ こーを きさい した しょるい およひゝ せゝ んこーに

03:きてい する しょーめいしょを しょし し、 かんけいしゃの

04:せいきゅーか` 〓 ある 〓 とときわ、 〓 これらを 〓 ていし` 〓 しなけれは`

05:ならない。

06: (1) と一かゝいひょーしを おこなう いぬの

07: よほゝ ー せっしゅ およひゝ けんしんの しゝ っしに かんする

08: きろく (よほゝーせっしゅ およびゝけんしんを しゝっしした

09: しんりょー きかん とーの めいしょー および じゅーいしの

10: しょめい またわ きめい おーいんかゝ なければゝ ならない。)

11: (2) せゝんこゝ一に かけゝる ものの ほか、

12: と一かゝい ひょーしゝ を おこなう いぬの えいせいの かくほの

13: ための : けんこー : かんりに : かんする : きろく

14:

15:

16:

17:

18:

- 01: :: 3 7
- 02: ふそく :: (へいせい :: 1 7ねん :: 3かゝつ :: なのか
- 03: こーせい :: ろーとゝー :: しょーれい
- 04: たゝい :: 2 5こゝー) :: (しょー)
- 05: (しこー :: きしゝつ)
- 06: たゝい :: 1 じょー :: この :: しょーれいわ、 :: ふとゝーさん
- 07: とーきほーの :: しこーの :: ひ (へいせい :: 1 7ねん :: 3かゝつ
- 08: なのか) から :: しこー :: する。
- 09:
- 10: ふそく :: (へいせい :: 1 8ねん :: 3かゝつ
- 11: :: 3 1にち :: こーせい :: ろーとゝー :: しょーれい
- 12: たゝい :: 7 8こゝー) :: (しょー)
- 13: (しこー :: きしゝつ)
- 14: たゝい :: 1 じょー :: この :: しょーれいわ、 :: へいせい
- 15: :: 1 8ねん :: 4かゝつ :: ついたちから :: しこー :: する。
- 16:
- 17:
- 18:

01: 3 8

02: ふそく (へいせい 18ねん 9かゝつ

03: 29にち こーせい ろーとゝ しょーれい

04: た" い: 1 6 9 こ" -)

05: この しょーれいわ、 へいせい 18ねん 10が つ

06: ついたちから :: しこー :: する。

07:

08: ふそく (へいせい 20ねん 11か づ

09: 28にち こーせい ろーとゝ しょーれい

10: た い 1 6 3 こ ー (しよー)

11: :: :: :: :: (しこー :: きし` つ)

12: たゝい 1じょー この しょーれいわ、 いっは°ん

13: しゃたゝん ほーしゝん およびゝ いっぱゝん さゝいたゝん

14:ほーし`んに`かんする`ほーりつの`しこーの`ひ(へいせい

15: 20ねん 12かゝつ ついたち) から しこー する。

16:

17:

18:

01: 3 9

02: ふそく (れいわ か`んねん 5か`つ なのか

03: こーせい ろーとゝー しょーれい

04: た" い. 1 こ" ー) . . . (しよー)

05: : : : (しこーきし"つ)

06: たゝい 1 じょー この しょーれいわ、 こーふの ひから

07: しこーする。

08: :: :: :: :: (けいか :: そち)

09: た い 2じょー この しょーれいに よる

10:かいせいせい さんの それぞ れの しょーれいで 〃 さた 〃 める

11: よーしき (しゝ こーに おいて 「きゅー よーしき」という。) に

12:より しょー されて いる しょるいわ、 この しょーれいに

13: よる かいせいこ` の それそ` れの しょーれいて` さた` める

14:よーしきにヨるものとみなす。

15: 2 きゅー よーしきに よる よーしに ついてわ、

16:こゝーりてきに∴ひつよーと∴みとめられる∴はんいないで”

17: と一ふんの かん、これを とりつくろって しよーする

18: ことが” ……で” きる。

01: 4 0

02: よーしき たゝ い 1 こゝ ― (たゝ い 4 じょー かんけい)

03: (りゃく)

04: 　　よーしき　たゝ　い　2こゝ　ー　（たゝ　い　8じょー　かんけい）

05: (りゃく)

06: よーしき たゝ い 3 こゝ ― (たゝ い 9 じょー かんけい)

07: (りゃく)

08: よーしき たゝ い 4 こゝ ― (たゝ い 1 4 じょー かんけい)

09: (りゃく)

10: よーしき たゝ い 5こー (ふそく たゝ い 3じょー

11:かんけい) :: (りゃく)

12: よーしき たゝ い 6こー (ふそく たゝ い 3じょー

13:かんけい) :: (りゃく)

14: _____

15:

16:

17:

18: